

高知県感染症発生動向調査（月報）

2016年12月

高知県感染症情報センター
 高知県衛生研究所
 TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/>
 E-mail: 130120@ken.pref.kochi.lg.jp

全国情報

第48週(11月28日～)から第52週(～1月1日)までの5週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。全国における12月の上位6疾患の合計は4週間に換算すると110.01で11月の67.81に比べて増加した。増加の主因は感染性胃腸炎と12月に流行が始まったインフルエンザの増加である。1位は感染性胃腸炎で4週間換算値67.70と11月の1位41.75に比べて約1.6倍に増加した。2位はインフルエンザで22.19(11月5位4.60)に比べて約4.8倍に増加した。3位がA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で9.27(同2位8.00)と横ばいであった。4位がマイコプラズマ肺炎で3.96(同3位4.75)とわずかに減少した。5位は流行性耳下腺炎で3.69(同6位4.06)と微減、6位はRSウイルス感染症で3.19(同4位4.65)と減少した。

2016年は8月から麻疹が流行し、話題となった。第34週～38週に100名の患者が報告されたが、10月の第39週～42週は17名で減少に転じ、11月は3名、12月は7名と増加しているが、冬季に入り一時流行は終息しそうである。ただし、2016年の累計は159名(うち検査診断例が98例)となり、昨年を大きく上回っており、動向に注意を要する。

表1 各週定点当たり報告数(全国)

No	疾病名	週	48週	49週	50週	51週	52週	計
1	感染性胃腸炎		17.37	19.45	20.89	17.28	9.64	84.63
2	インフルエンザ		2.49	3.31	5.02	8.38	8.54	27.74
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2.41	2.56	2.72	2.36	1.54	11.59
4	マイコプラズマ肺炎		1.13	1.21	1.01	0.84	0.76	4.95
5	流行性耳下腺炎		1.05	0.99	0.97	0.88	0.72	4.61
6	RSウイルス感染症		0.97	0.93	0.79	0.70	0.60	3.99

県内情報

1. 全国との対比(定点当たり報告数)

高知県の12月の上位6疾患の合計は4週間換算で59.85と11月の38.39に比べ増加したが、全国よりも少なかった(表2)。増加の主たる原因は上位2疾患すなわち感染性胃腸炎とインフルエンザの増加である。全国の値と比べると、RSウイルス感染症と水痘を除く4疾患はいずれも少ない報告数だった。

1位は感染性胃腸炎で、4週間換算値28.78と11月の19.80と比べ増加した。県下の臨床検体からNorovirusが6件、Sapovirus、Coxsackievirusが各3件、Adenovirus 5とAstrovirusが各1件同定されており、多彩なウイルスが原因となっている。とりわけ強い感染力をもち、感染予防策を講じることが難しいNorovirusが、11月以降流行が続いており注意が必要である。2位はインフルエンザで、12.12(11月12位0.64)と18.9倍に増え、本県は全国よりも遅れたが、いよいよ流行期に入った。本県でA香港H3が8件、AH1pdm09が1件検出されており、全国の流行株の比率と同様である。3位がA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で7.42(同2位4.87)、4位はRSウイルス感染症で4.58(同4位3.56)といずれも増加した。5位が水痘で4.14(同7位2.27)と増加し、定点当たりの報告は全国で最も多かった。6位がマイコプラズマ肺炎で2.82(同3位4.26)と減少した。

表2 各週定点当たり報告数(高知県)

No	疾病名	週	48週	49週	50週	51週	52週	計
1	感染性胃腸炎		5.73	6.77	8.77	8.57	6.13	35.97
2	インフルエンザ		0.48	0.92	2.25	4.42	7.08	15.15
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.67	2.07	2.33	1.97	1.23	9.27
4	RSウイルス感染症		1.03	1.40	1.00	0.97	1.33	5.73
5	水痘		1.70	0.97	0.77	0.80	0.93	5.17
6	マイコプラズマ肺炎		1.13	0.88	0.63	0.50	0.38	3.52

2. 全体の傾向

麻しん、風しんの報告無し。

3. 主な疾患の発生状況

1) インフルエンザ

報告数 727名（11月 31名）。全国では第34週以降に報告が増加しており、例年の同時期に比べてかなり多い。本県は出遅れたものの11月になってまとまった報告があり、12月には著しく増加し流行期に入った。12月としては、過去10年間のうちで、パンデミック（新型インフルエンザ）として記憶に新しい2009年に次ぐ多い報告数であった。広い年齢層で報告され、20歳未満が56.5%であった。県下全域から報告があり、高知市、中央西、幡多、須崎で多かった。ウイルスはA香港H3が8件、AH1pdm09が1件検出された。

2) 咽頭結膜熱

報告数 58名（11月 97名）。高知市、中央東、幡多から、表記の順に多く報告された。同時期としては、過去10年で、2013年に次いで多い報告数である。咽頭結膜熱の患者からのウイルス検出はなかったが、感染性胃腸炎と臨床診断された患者検体からAdenovirus 5が1件、詳細不明の患者検体からAdenovirus 2が1件それぞれ検出された。

3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 278名（11月 146名）。2014年10月以降多い報告数が続いていて、2015年12月以降は2016年3月に至るまで、同時期として過去10年間では最大の流行となった。2016年5月はほぼ平常並み、6月は再び増加した。7月以降減少に転じたものの9月以降には再びゆるやかに増加し100台で推移し、11月、12月は平常並みの数となった。県下全域から報告があり、特に須崎、中央西、高知市からの報告が多い。細菌は検出されていない。

4) 感染性胃腸炎

報告数 1,079名（11月 594名）。県下全域から報告があり、須崎、幡多、高知市、中央東、中央西、安芸の順に多く報告された。病原体としてはNorovirusが6件、Sapovirus、Coxsackievirusが各3件、Adenovirus 5とAstrovirusが各1件検出された。特に強い感染力をもつNorovirusの流行が11月から続いており注意が必要である。

ロタウイルスは2011年11月に任意ワクチンが導入されて2013年11月からサーベイランス調査が開始された。ロタウイルス胃腸炎は、3月に増加し、2013年11月以降では最多の患者数（101名）が報告されたが、4月は36名、5月は13名、6月以降は1～3名と減少している。本県でのワクチン接種率は乳児の4割程度で、全国よりも低いと推測されている。

5) 水痘

報告数 155名（11月 68名）。県下全域から報告があり、中央西、中央東、高知市、幡多からの報告が多い。2015年からの水痘ワクチン定期化の効果で、少ない数字で推移していたが、12月は大幅に増加した。ワクチン定期化の恩恵を受けていない5歳以上が78名（50%）を占め、この年齢層での流行があるためか、過去10年間ではこの時期として5番目の報告数に上った。定点当たりの報告は全国で最も多かった。今後の動向に注意が必要である。

6) 手足口病

報告数 16名（11月 17名）。初夏に流行が始まる感染症で、例年通りの立ち上がりで、7月以降減少していたが、10月に再び増加に転じたが11月12月と減少したが終息は未だである。高知市と中央東から報告された。病原体はCoxsackievirus A6が1件検出された。

7) 伝染性紅斑

報告数 36名（11月 23名）。2015年以降、全国的に例年に比べて多い傾向で推移している。高知市、幡多、安芸、中央東から報告があり、表記の順に多かった。Parvovirus B19は検出されていない。軽症のことが多く、医療機関を訪れる機会も少なく流行状況の正確な把握が難しい側面がある。流行が続けば、成人の関節炎、貧血発作（Aplastic crisis）、流産、胎児水腫といった合併症が増加する可能性があり、注意を要する。

- 8) 突発性発疹
報告数 42名 (11月 37名)。想定内の変動で推移している。
- 9) 百日咳
報告数 7名 (11月 9名)。重症化しやすい6か月未満の乳児が1名含まれている。高知市、中央西、幡多から報告があった。細菌は*Bordetella pertussis*のゲノムは1件検出された。高知県では百日咳の入院例に限定した全数調査が2016年から開始されている(厚生労働省班会議研究の拠点調査)。
- 10) ヘルパンギーナ
報告数 10名 (11月 32名)。例年6-7月から流行がみられるが、今季は、通常の流行の立ち上がり、規模ともに小さかったが、だらだらと報告が続いている。中央西以外の全域から報告された。ウイルスはCoxsackievirus A2が2件検出された。
- 11) 流行性耳下腺炎
報告数 80名 (11月 80名)。全国的にも増加が報告され注目されている。高知県でも6月に倍増し、流行が危惧されたが、7月は半減し、例年の流行レベルとなった。安芸以外から報告があり、中央東、須崎、中央西、高知市が多い。ウイルスは検出されていない。
- 12) RSウイルス感染症
報告数 172名 (11月 107名)。県下全域から報告があり、須崎、幡多、高知市、安芸、中央東の順に多かった。この時期としては平年並みの数である。病原体としてはRS virus Bが1件検出された。
- 13) 流行性角結膜炎
報告数 2名 (11月 2名)。ここ3年間は一桁で推移している。
- 14) 細菌性髄膜炎(基幹定点の報告疾患)
報告数 0名 (11月 0名)。
- 15) 無菌性髄膜炎(基幹定点の報告疾患)
報告数 0名 (11月 0名)。
- 16) マイコプラズマ肺炎(基幹定点の報告疾患)
報告数 28名 (11月 34名)。中央東、幡多、高知市から表記の順に多く報告された。多数の報告が続く幡多地域では、臨床的にマクロライド系薬剤耐性であり、抗菌薬選択に注意を要する。百日咳と区別が難しい患者から1件、細菌ゲノムが検出された。

基幹定点の月報疾患

- 17) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症
報告数 20名 (11月 16名)。例年並みの数で推移している。
- 18) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症
報告数 0名 (11月 0名)。2014年は計4例、2015年、2016年は各1例報告があった。

高知県感染症発生動向調査部会
前田 明彦

高知県における月別全数報告疾患（平成28年12月）

類型	病名	報告月												総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
2	結核	9	7	13	10	7	13	10	18	12	9	9	5	122
3	腸管出血性大腸菌感染症						1	4	1	28				34
4	A型肝炎			1										1
	つつが虫病							1				2	1	4
	日本紅斑熱	1	1		2	1	2		2	1	1	2		13
	重症熱性血小板減少症候群	2		1	1				2	1				7
	レジオネラ症						2					1		3
5	アメーバ赤痢						1						1	2
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症		3	1	2		3	2		3	3	3	1	21
	後天性免疫不全症候群	1	1	1	2				1	1	2			9
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2			1									3
	侵襲性肺炎球菌感染症	4	1	3	2	1	1		1		1		2	16
	水痘(入院例に限る)					1								1
	破傷風					2				1				3
	梅毒		1	2	2		2	1	2	1			1	12
	急性脳炎			1										1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1			1		1					3
	播種性クリプトコックス症												1	1
	総計	19	14	24	22	12	26	18	28	48	16	17	12	256

高知県感染症情報 月報(65定点医療機関)

2016年

12月

定点名	疾病名	保健所						計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多			
内科・小児科	インフルエンザ	21	69	364	92	56	125	727	31	35
小児科	咽頭結膜熱		9	46			3	58	97	20
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	30	139	41	39	26	278	146	383
	感染性胃腸炎	31	231	375	95	105	242	1,079	594	1,052
	水痘	4	45	64	21	3	18	155	68	32
	手足口病		2	14				16	17	4
	伝染性紅斑	1	1	24			10	36	23	38
	突発性発疹	1	4	25	3	1	8	42	37	51
	百日咳			5	1		1	7	9	3
	ヘルパンギーナ	1	2	2		1	4	10	32	4
	流行性耳下腺炎		37	22	8	7	6	80	80	73
	RSウイルス感染症	11	20	73	3	19	46	172	107	113
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎			2				2	2	2
STD	性器クラミジア感染症								2	1
	性器ヘルペスウイルス感染症									
	尖圭コンジローマ									
	淋菌感染症									
基幹	細菌性髄膜炎									2
	無菌性髄膜炎									2
	マイコプラズマ肺炎		6	17			5	28	34	29
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)			4				4	2	10
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限り)			3				3	2	7
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	4	1	14			1	20	16	24
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症									
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
計		77	457	1,193	264	231	495	2,717	1,299	1,885
前月		48	357	610	112	82	90			
前年同月		91	398	935	138	116	207			
小児科定点数		2	7	11	3	2	5			

高知県感染症情報 月報(65定点医療機関)

2016年

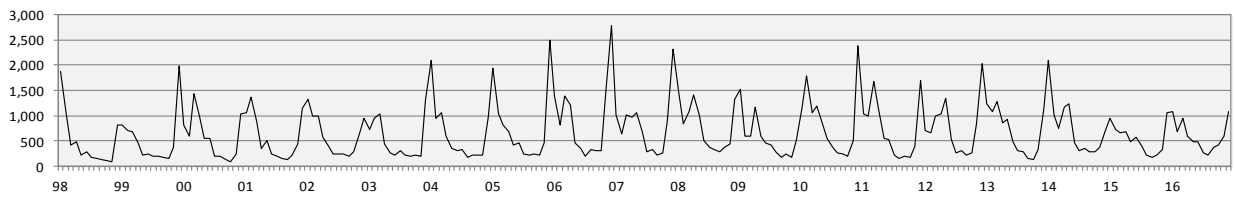
12月

定点当たりの人数

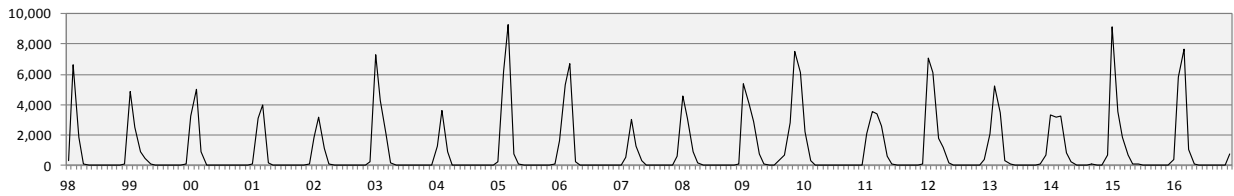
定点名	疾病名	保健所							計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				
内科・小児科	インフルエンザ	5.25	6.28	22.76	18.40	14.00	15.64	15.15	0.64	0.73	
小児科	咽頭結膜熱		1.29	4.19			0.60	1.93	3.24	0.66	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.50	4.28	12.64	13.66	19.50	5.20	9.27	4.87	12.76	
	感染性胃腸炎	15.50	33.00	34.08	31.66	52.50	48.40	35.97	19.80	35.08	
	水痘	2.00	6.44	5.82	7.00	1.50	3.60	5.17	2.27	1.06	
	手足口病		0.29	1.26				0.54	0.57	0.13	
	伝染性紅斑	0.50	0.14	2.18			2.00	1.20	0.77	1.27	
	突発性発疹	0.50	0.58	2.27	0.99	0.50	1.60	1.39	1.23	1.69	
	百日咳			0.45	0.33		0.20	0.23	0.31	0.10	
	ヘルパンギーナ	0.50	0.28	0.18		0.50	0.80	0.33	1.07	0.12	
	流行性耳下腺炎		5.29	1.99	2.67	3.50	1.20	2.66	2.66	2.44	
	RSウイルス感染症	5.50	2.86	6.63	0.99	9.50	9.20	5.73	3.56	3.77	
眼科	急性出血性結膜炎										
	流行性角結膜炎			2.00				0.66	0.66	0.66	
STD	性器クラミジア感染症								0.33	0.17	
	性器ヘルペスウイルス感染症										
	尖圭コンジローマ										
	淋菌感染症										
基幹	細菌性髄膜炎									0.26	
	無菌性髄膜炎									0.25	
	マイコプラズマ肺炎		6.00	3.40			5.00	3.52	4.26	3.63	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)			0.80				0.51	0.26	1.26	
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスである ものに限る)			0.60				0.38	0.25	0.89	
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	4.00	1.00	2.80			1.00	2.50	2.00	3.00	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症										
	薬剤耐性緑膿菌感染症										
小児科定点分計		31.25	60.73	94.45	75.70	101.50	88.44	79.57	40.99	59.81	
前月		21.00	49.73	51.90	36.37	40.75	15.40				
前年同月		44.25	55.65	79.33	44.40	57.75	39.15				

注目される疾患別月別推移

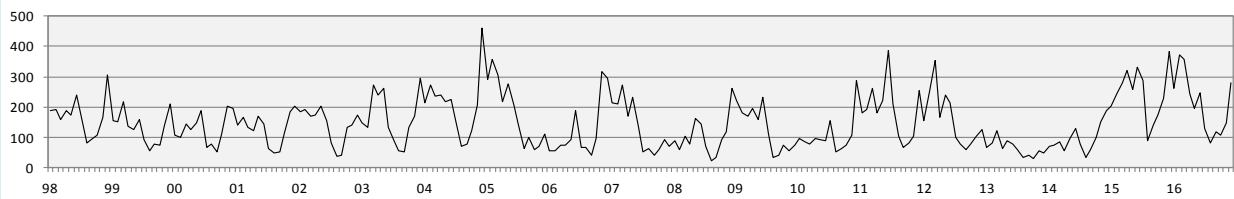
感染性胃腸炎



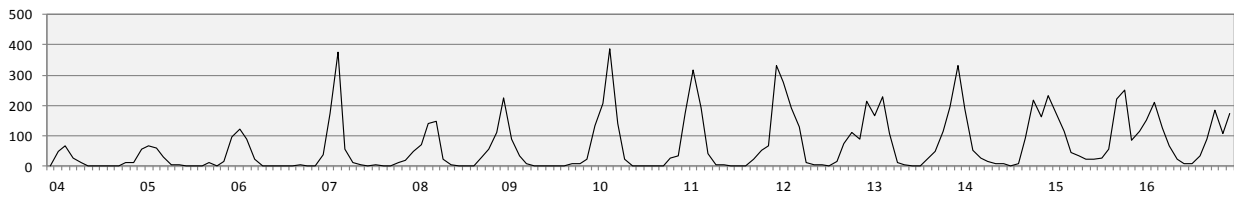
インフルエンザ*



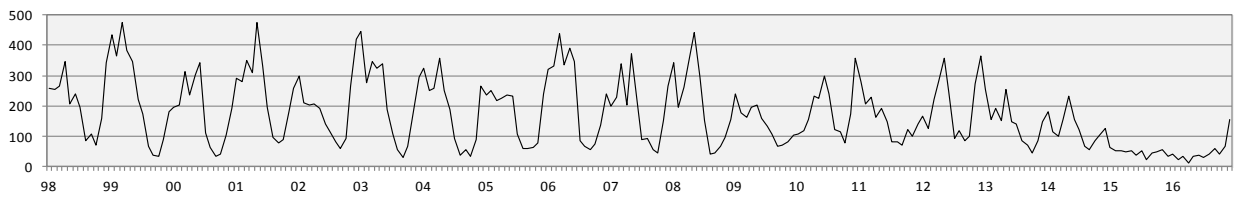
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



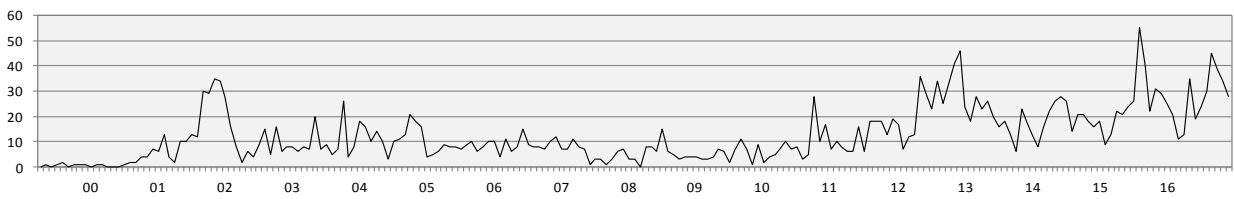
RSウイルス感染症



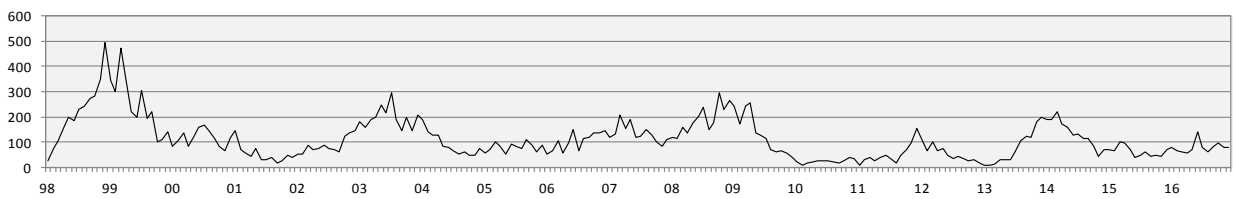
水痘



マイコプラズマ肺炎



流行性耳下腺炎



高知県感染症情報(月報)
平成28年12月

検査情報

ウイルス、細菌の分離状況

12月はウイルス45件、細菌15件の搬入があり、そのうちウイルス28件、細菌2件の病原体を検出し、また、平成28年11月に搬入された検体でウイルス7件を検出した。検出ウイルスの内訳は、Adenovirus 2 1件、Adenovirus 5 1件、Astrovirus NT 1件、Coxsackievirus A2 6件、Coxsackievirus A4 1件、Coxsackievirus A6 1件、Coxsackievirus B4 1件、human parvovirus B19 1件、Influenza virus A H1pdm09 1件、Influenza virus A H3 NT 8件、Norovirus GII NT 7件、Respiratory syncytial virus B 1件、Rhinovirus 1件、Sapovirus genogroup unknown 4件であった。また、細菌の内訳は、*Bordetella pertussis* 1件、*Mycoplasma pneumoniae* 1件であった。

ウイルス、細菌の分離状況

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
1	11ヶ月	男	感染性胃腸炎	37°C、下痢、嘔吐、嘔気、	ふん便	11/15	Coxsackievirus A2
2	2	男	感染性胃腸炎	38°C、嘔吐、嘔気、	ふん便	11/18	Coxsackievirus A2
3	51	男	-	38°C、咳嗽、	うがい液	11/18	Rhinovirus
4	1	女	感染性胃腸炎	嘔吐、嘔気、中枢神経系障害、	ふん便	11/21	Coxsackievirus A4
							Norovirus GII NT
5	3	男	感染性胃腸炎	36°C、下痢、嘔吐、嘔気、腹痛、	ふん便	11/25	Sapovirus genogroup unknown
6	6	男	-	39°C、腹痛、	ぬぐい液	11/25	human parvovirus B19
7	4	女	インフルエンザ	39°C、	ぬぐい液	11/29	Influenza virus A H3 NT
8	12	男	インフルエンザ	38°C、咳嗽、	ぬぐい液	11/29	Influenza virus A H3 NT
9	8	女	感染性胃腸炎	38°C、下痢、嘔吐、嘔気、咳嗽、	ふん便	11/30	Sapovirus genogroup unknown
10	3	女	インフルエンザ	39°C、腹痛、咳嗽、	ぬぐい液	11/30	Influenza virus A H3 NT
11	8ヶ月	女	ヘルパンギーナ	40°C、	ぬぐい液	11/30	Coxsackievirus A2
12	13	男	インフルエンザ	38°C、関節痛、	ぬぐい液	12/2	Influenza virus A H3 NT
13	66	女	インフルエンザ	37°C、咳嗽、	ぬぐい液	12/2	Influenza virus A H3 NT
14	2	女	手足口病	嘔吐、嘔気、腹痛、	ふん便	12/2	Coxsackievirus A6
15	3	男	感染性胃腸炎	37°C、嘔吐、嘔気、	ふん便	12/3	Sapovirus genogroup unknown
16	9	男	インフルエンザ	40°C、	ぬぐい液	12/3	Influenza virus A H3 NT
17	2	女	インフルエンザ様疾患	40°C、肺炎、	鼻汁吸引液	12/5	Respiratory syncytial virus B
18	11ヶ月	男	感染性胃腸炎	38°C、下痢、嘔吐、嘔気、	ふん便	12/5	Astrovirus NT
							Coxsackievirus B4
							Norovirus GII NT
19	9ヶ月	女	-	-	ぬぐい液	12/6	Adenovirus 2
20	1	男	ヘルパンギーナ	40°C、咳嗽、	ぬぐい液	12/8	Coxsackievirus A2
21	11	女	百日咳	咳嗽、	ぬぐい液	12/8	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
22	1	男	感染性胃腸炎	37°C、下痢、嘔吐、嘔気、	ふん便	12/9	Adenovirus 5
23	4	女	感染性胃腸炎	36°C、嘔吐、嘔気、	ふん便	12/9	Coxsackievirus A2
24	4	男	感染性胃腸炎	37°C、下痢、	ふん便	12/12	Norovirus GII NT
25	1	女	感染性胃腸炎	37°C、下痢、嘔吐、嘔気、	ふん便	12/12	Coxsackievirus A2
26	2	男	インフルエンザ	40°C、咳嗽、	ぬぐい液	12/12	Influenza virus A H3 NT
27	17	女	インフルエンザ	40°C、	ぬぐい液	12/12	Influenza virus A H3 NT
28	10	男	感染性胃腸炎	36°C、嘔吐、嘔気、腹痛、	ふん便	12/13	Norovirus GII NT
29	10	男	インフルエンザ	39°C、咳嗽、上気道炎、	ぬぐい液	12/13	Influenza virus A H1pdm09
30	5	男	感染性胃腸炎	38°C、嘔吐、嘔気、	ふん便	12/14	Norovirus GII NT
31	8	女	百日咳	咳嗽、	ぬぐい液	12/14	<i>Bordetella pertussis</i>
32	2	女	感染性胃腸炎	37°C、下痢、嘔吐、嘔気、	ふん便	12/15	Sapovirus genogroup unknown
33	1	男	感染性胃腸炎	37°C、嘔吐、嘔気、	ふん便	12/16	Norovirus GII NT
34	6	女	感染性胃腸炎	38°C、嘔吐、嘔気、	ふん便	12/19	Norovirus GII NT

臨床診断名	病原微生物	2016年												2016年 総計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
伝染性紅斑	Human herpes virus 7									1				1
	human parvovirus B19 virus	1	1											2
	Parechovirus 3											1		1
	Respiratory syncytial virus A		1											1
	計	1	2							1			1	5
百日咳	<i>Bordetella parapertussis</i>		1											1
	<i>Bordetella pertussis</i>	2	5	4	4	5	8	3	4	10	6	3	1	55
	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>		1				1	1	1	1		3	1	9
	計	2	7	4	4	5	9	4	5	11	6	6	2	65
流行性耳下腺炎	Mumps virus					1					1			2
	計					1					1			2
無菌性髄膜炎	Coxsackievirus B3										1			1
	Cytomegalovirus									1				1
	Echovirus 6						2	3	1					6
	Echovirus 30									1				1
	Human herpes virus 7	1							1					2
	Mumps virus								2					2
	Parechovirus 3								1					1
	Parainfluenza virus 3									1				1
	Rhinovirus													
Respiratory syncytial virus A						2	6	3	2	1			15	
計	1					2	6	3	2	1			15	
マイコプラズマ肺炎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>		1		1					1				3
	計		1		1					1				3
RSウイルス感染症	Respiratory syncytial virus A										1			1
	Respiratory syncytial virus B											2		2
	計										1	2		3
水痘														
	計													
突発性発疹	Coxsackievirus A4					1								1
	Cytomegalovirus								1					1
	Human herpes virus 6					2				1				3
	計					3				1	1			5
その他	Adenovirus 2	1											1	2
	Adenovirus 3										1			1
	Adenovirus 41									1				1
	<i>Bordetella pertussis</i>				1									1
	Coxsackievirus A4							2						2
	Coxsackievirus A14	1												1
	Coxsackievirus A16													
	Cytomegalo virus	4		4	1			1	1		1			12
	Echovirus 6						3	1	1					5
	Echovirus 18				1									1
	Enterovirus NT					1	2							3
	Epstein-Barr virus	3					2					1		6
	Herpes simplex virus 1	1								1				1
	Human herpes virus 6	2	4		1		2			2	2	1		14
	Human herpes virus 7	3	1	2	1	1		1		1		1		11
	Human metapneumovirus					2	1		7		2			12
	human parvovirus B19								1			1		2
	Mumps virus										1			1
	Norovirus GII NT											1		1
	Parainfluenza virus 1						1							1
	Parainfluenza virus 3					1	2		2	1				6
	Respiratory syncytial virus A	2	4					1						7
	Respiratory syncytial virus B	1		2								2	1	6
Rhinovirus	2	1	3	2	3	1	1				2		15	
Rotavirus group A G2			1										1	
Sapovirus genogroup unknown												1	1	
	計	20	10	12	7	8	14	8	11	6	7	9	2	114
総計		49	89	49	32	26	42	35	26	25	26	36	30	465

類型	病名	報告年																												総計																																							
		11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28																																																		
2	結核																											131	149	163	156	192	132	128	138	131	122	1442																															
	計																											131	149	163	156	192	132	128	138	131	122	1442																															
3	コレラ																											1																											3														
	パラチフス																											2																											2														
	細菌性赤痢	11	4	2	3		1	2	2																											25																																	
	腸チフス																											1																											3														
	腸管出血性大腸菌感染症	11	8	18	15	2	10	9	3	25	4	19	12	3	8	3	5	2	34																											191																							
	計	25	13	20	15	5	12	11	6	25	4	19	13	3	8	3	5	3	34																											224																							
4	A型肝炎	3	5	3	2	4	2	1	4	1																											3	1	32																														
	Q熱	1	1	2																											1	5																																					
	オウム病																											1	2																																								
	つつが虫病																											9	5	2	4	5	6	7	2	5	4	2	5	8	3	3																											74
	マラリア																											2	3																																								
	レジオネラ症																											2	1	1																											51												
	日本紅斑熱	15	3	14	7	14	13	10	3	1	6	6	7	15	4	1	7	4	13																											143																							
	日本脳炎	1	1	1																											1	6																																					
	レプトスピラ症																											1	1																											8													
	E型肝炎																											1	1																											2													
	デング熱																											1																											7														
	重症熱性血小板減少症候群																											3	2	1																											7												
	計	20	21	26	12	23	21	18	17	4	20	19	18	31	24	13	27	15	28																											357																							
	5	アメーバ赤痢																											2	2	2	1	2	2	2	1	3	2	2	3																											36		
ウイルス性肝炎		11	4	3	5	2	2	3	5	5	4	3	3																											54																													
カルバペネム耐性腸内細菌感染症																												7	19	21																											47												
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	1	4	4		3	3																											28																																		
ジアルジア症																												1	1																											7													
バンコマイシン耐性腸球菌感染症																												1	3																											3													
急性脳炎																												1	1	2	5	1	3	1																											17								
劇症型溶血性レンサ球菌感染症																												1	1	1	1	3																											13										
後天性免疫不全症候群		2	2		2		4	2	3	6	3	3	2	3	3	2	7	6	9																											59																							
侵襲性インフルエンザ菌感染症																												1	5	3																											9												
侵襲性肺炎球菌感染症																												1	4	12	16																											33											
水痘(入院例に限る)																												2	1																											3													
播種性クリプトコックス症																												1	1																											1													
髄膜炎菌性髄膜炎																												1	1																											1													
破傷風																												3	2	2	1	1		1	1	1	1	4		3	3																											29	
梅毒		2	3	4	4	12	9	6	27	6	5	5	2	4	10	8	4	12	12																											135																							
麻しん																												5	5																											5													
風しん																											1	1																											16														
計	16	14	21	15	23	20	17	39	29	25	23	14	15	29	20	40	64	72																											496																								
新型	新型インフルエンザ																											34																											34														
	計																											34																											34														
動物	鳥インフルエンザ																											1																											1														
	計																											1																											1														
総計		61	48	67	42	51	53	46	62	189	198	258	201	242	193	164	210	213	256																											2554																							

類型	病名	報告月												総計	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
2	結核	9	7	13	10	7	13	10	18	12	9	9	5	122	
3	腸管出血性大腸菌感染症													34	
4	A型肝炎													1	
	つつが虫病													4	
	日本紅斑熱	1	1	2		1	2	2		1	1	2			13
	重症熱性血小板減少症候群	2	1		1			2	1					7	
	レジオネラ症													3	
5	アメーバ赤痢													2	
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	3		1	2	3		2	3		3	3	1	21	
	後天性免疫不全症候群	1	1	1	2			1	1	2			9		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2			1									3	
	侵襲性肺炎球菌感染症	4	1	3	2	1	1	1		1		2		16	
	水痘(入院例に限る)													1	
	破傷風													3	
	梅毒	1		2	2	2		1	2	1	2	1	1		12
	急性脳炎													1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症													1	
	播種性クリプトコックス症													1	
総計	19	14	24	22	12	26	18	28	48	16	17	12	256		